

時は流れ 潮も流れて

塩飽・高見島の風景

2006. 11 西山 市朗

1. 山下岩吉の晩年を過した家

かつて本島の泊浦の人ではないかといわれていた山下岩吉。

高見島の浦の大聖寺に残る山下岩吉の石塔墓が、今も塩飽の海を見下している。

*岩吉が晩年を過した仁兵衛の家（山下家）と岩吉の生まれた家・新兵衛（山下家）岩吉と兄弟の元吉の墓が浦の磯の墓に残っている。

「海見下す島のみ寺の墓地の中咸臨丸船員の墓一つあり」 朝田とみゑ

『うたの讃岐路』（阿津秋良・本名津森明）に記載されている短歌であるが・・・・・・
岩吉の墓は昭和 57.3 発行の『本四架橋に伴う島しょ部民俗文化財調査報告（第2年次）』（瀬戸内海歴史民俗資料館）に「咸臨丸水夫の墓」として紹介されている。

山下岩吉と古川庄八（瀬居島）・・・・・・高見島の「満濃池の井戸」の話

庄八さんの孫にあたる人と本島からの帰りに一緒になり、「満濃池の井戸」の話が話題となった。庄八さんが話していたというのだ。瀬戸内海が陸地だった大昔から、満濃池から高見島にかけて大きな河が流れていた。

幕府オランダ留学生の岩吉が持ち帰っていた写真は『時代をつなぐ写真』にも掲載されている。古川庄八・榎本武揚・赤松・西らの写真に加えてオランダで会った肥田浜五郎・布施鉦吉郎の写真も含まれている。また、その写真展（香川県歴史博物館で昨年開催）には向井仁助の写真（讃岐の人物で撮影された最古の写真）も展示された。

*「瀬戸の花嫁」「ブラジルへの移民」（共に高見島）の写真や琴平町榎井の長谷川佐太郎の写真も掲載されている。

岩吉についての話

『多度津文化財』第 25 号の中に山下岩吉について西山保氏が研究報告し、新聞でも報道された。

『地に満つる愛』（竹田敏彦）の主人公昇平のモデルである農業普及員の家があり、その上方に岩吉の晩年を過した家がある。

『桑港にて』（植松三十里）に対し「もうひとつの桑港」の話や吉備津神社の建築に行った宮大工の話が残っている忠左衛門の家（山野家）が更に上方にあった。

*映画「男はつらいよ 寅次郎の縁談」のロケ地に立って見る。

*屋号 仁兵衛（ニンヒョ）

山下岩吉 — 代吉（大工） — ユキ — 山下伊勢雄（s 24 没）

三崎久兵衛 — 三崎光雄・三崎弘

屋号 新兵衛（シンヒョ）

倉本三郎

山下新造 — 元吉 — 新太郎 — チズエ — 山下勝正・宗雄・忠義・義雄

2. 勤皇僧月照・信海と理性院大聖寺

はじめて西郷隆盛と月照さんの話を聞いたのは大学4年の夏であった。

その後、『仲多度郡史』を読み、はじめて月照が高見島で生まれたことを知った。

父大聖寺住職専海は、善通寺市吉原町出身の竹森宗吉で大聖寺の下の豆腐屋の娘お久との間にできたのが月照・信海の兄弟だった。父は還俗して大阪で玉井宗江と名乗り、医を生業とした。そして再婚もしており、一説に月照は大阪出身とされている。

文化10年頃、高見島にも豆腐作りが伝わっていたのだろうか。本格的に豆腐が庶民の間に普及したのは、1782(天明2)に刊行された豆腐料理本『豆腐百珍』の影響によることが大だといわれている。

* やはり空海と同様に、父親のところで誕生したことになっている。

3. 丸尾五左衛門が栄えた時代と浦の家並み

丸尾五左衛門については、高見島にも話が残っていた。分限者の力と大名(支配者)の力を示す話として伝わっていた話もあった。

多度津町に五左衛門の子孫が在住しているのを西山保氏から耳にしていた。

琴平町榎井にも、その子孫が造り酒屋「丸尾本店」を経営している。幕末に桂小五郎や高杉晋作^{かくま}の話、もとオーナーで満濃池の修築に私財を投げ出した長谷川佐太郎。

悦凱陣の酒は「高杉晋作がのんだ酒」として売り出されている。

丸亀市飯野町の吉村家には、牛島の丸尾家から移築した欄間等が残っている。

また、牛島では丸尾家の屋敷跡や移築した御成門を見ることができる。

丸尾家が栄えた時代は、また高見島が一番栄えた時代でもあった。そして、浦の家並みはちょうどその頃(江戸時代前期)大火により集落が移転し、計画的に「人名」を中心に造られたもので、私は「人名の記念碑」と呼んでいる。

4. その他の高見島の風景

- ① 海に見える家 目の前に広島・本島・牛島・宇多津・丸亀・多度津がひろがる
- ② 制立場(セタツバ)と場屋(藤田家)・上之場屋(大倉家)
- ③ 六社宮献燈1809(文化6) 世話人に倉本太左衛門・中谷金三良・中塚好松の名前が刻まれている。

1855(安政2)昇平丸に乗り組んで長崎へ行った塩飽水夫の中に

船頭 牛島の峠嘉吉・高見島の倉本多左衛門、表役 大倉常右衛門がいた。

- ④ 咸臨丸水夫小頭だった玉谷好平(屋号玉屋)の生家
- ⑤ 浜の墓 中野八左衛門の宝篋印塔・中ジョ波止・弁財船の模型奉納